

パターンC 解説・特徴（オーナー企業の売却・資本の受入（事業承継等））

定義・特徴

- オーナー企業が、後継者不在による事業承継や、独力ではなく他社資本を入れることにより事業を発展させていこうと考えるときに、自社の株式の売却（過半数超）を行うパターンである
- 事業承継や成長戦略を目的としたM&Aが多い。また、M&A実施後、買い手の人材支援・投入等を通じて、オーナー中心の経営体制から新しい組織として経営を進める体制への転換が進むなどの特徴がある

スキームイメージ

【売り手（対象会社）】

オーナー・創業家が
株式の過半数を占める企業

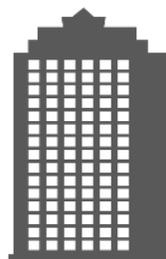


オーナー

過半数超の
株式の売却

【買い手】

外国事業会社・
海外PEファンド等



具体例

- おやつカンパニー×カーライル
 - オーナー企業のおやつカンパニー【売り手】のカーライル【買い手・PEファンド】への売却
- 大洋薬品工業×テバファーマ
 - オーナー企業の大洋薬品工業【売り手】のテバファーマスーティカル・インダストリーズ【買い手・事業会社】への売却

概況

■ 増加している事業承継・オーナー企業の売却

- 2021年度の全国の事業承継・引継ぎセンター（国が設置する公的相談窓口）への相談者数は20,841名。M&Aの成約件数は1,514件と、それぞれ過去最高を記録している（中小企業基盤整備機構公表資料より）